

未来館・科博における
サイエンスコミュニケーターのその後

科博SCAの設立

(国立科学博物館サイエンスコミュニケーター・アソシエーション)

科博認定サイエンスコミュニケーター
科博SCA代表

鈴木佑

自己紹介（鈴木佑）

現職

慶應義塾大学職員（湘南藤沢キャンパス）

経歴

農工大農学部 ➡ 工場案内係 ➡ 現職

活動分野

研究支援、サイエンス・コミュニケーション支援

興味・趣味

オーケストラや金管八重奏での演奏、演奏会運営

連絡

yu.suzuki@kahaku.sc

科博SCAとは

目的

会員同士の情報交換、科博SCA内外からの支援を円滑に受ける仕組みを構築し、SC活動の発展と普及に寄与する

組織

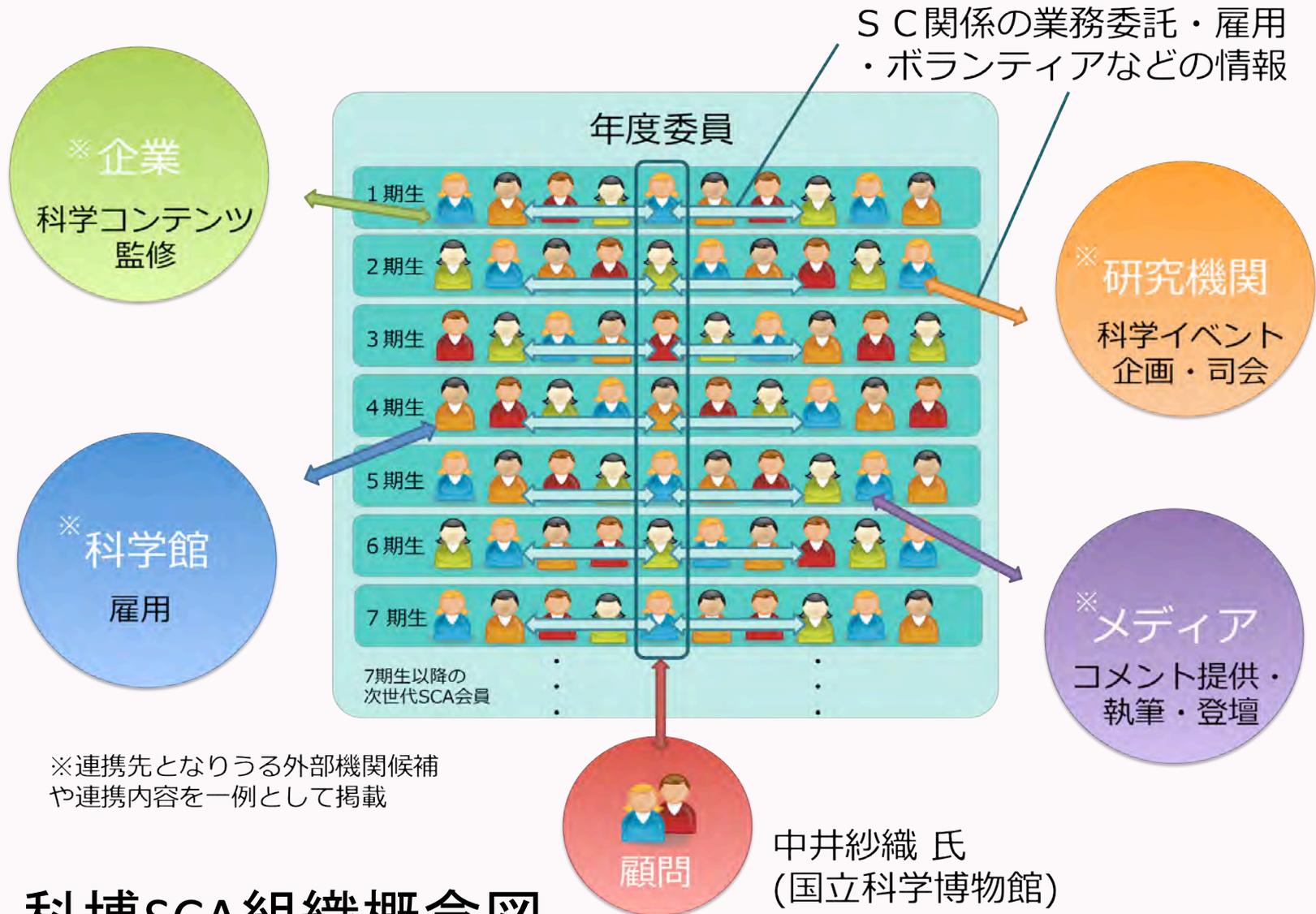
科博SC講座修了生154名で構成(2012年3月現在)

特徴

様々な出身大学、所属機関、専門分野、SC活動のフィールド

→多様な考えとノウハウが集う

科博SCAとは



科博SCA組織概念図

科博SCAの活動

SCA内部の繋がり

- ◆ 分科会の設置による“縦の繋がり”の形成
勉強会実行委員（1期～6期までの修了生が参加）
- ◆ MLによる情報交換

	2011年度	2012年度
スタッフ募集	14	16
職員募集	4	5
イベント案内	17	21
講座受講案内	2	3
受賞・助成案内	0	1

※数字は「件」
※2012年度は
2013年3月現在まで

SCA外部との関わり

- ◆ 2012年 シンポジウムの企画（主催：科博 共催：科博SCA）
「受けて伝えて！科学とメディア～あなたは何を見て行動しますか？～」
- ◆ 修了生が関わるイベントのスタッフ募集、機関の職員募集

科博SCAの課題と将来

直近の課題

より多くの会員に科博SCAを活用してもらう

➡ 分科会の設置強化、HP等の情報交換ツールの整備

➡ 会員同士の情報交換を円滑化し、
会員の“活動単位”を増やす

理想とする将来

- ◆ 会員がそれぞれ自主的、同時多発的に活動し、科博SCA から始まるSC活動の波を生み出す
- ◆ 魅力あるSCA会員を求め、外部の法人や機関が種々のイベントを科博SCAと共催する